

令和2年度第1回白河市みらい創造推進会議委員意見について

1. 個別事業について

(1) 重点施策Ⅰについて

【事業番号1 産業プラザ運営事業】

- ・産業サポート白河による企業支援は非常に効果が高く、県南管内の企業からも信頼も厚い。
- ・引き続き、産業サポート白河による伴走型支援の充実を図りたい。

(2) 重点施策Ⅱについて

【事業番号1 「ふれあいの場」創出事業】

- ・良い結果が出ていると思われるので、募集の際、結果をアピール（今まで〇〇組のカップルが誕生していますなど）してはどうか。

(3) 重点施策Ⅲについて

【事業番号2 サイクルツーリズム推進事業】

- ・アフターコロナを見据え、台湾からの誘客に取り組んでいただきたい。

【事業番号7 シティプロモーション推進事業】

- ・SNSを利用した情報発信は重要だと思う。発信するネタが何か必要ではないか。
- ※いわゆるインスタ映えするような目を引く景色・オブジェ・食べ物などの名物

2. 戦略全体について

(1) 重点施策Ⅰについて

- ・コロナの影響が強かった中で、人が集まるイベント等に抵抗感があるなど、当初立てた施策に対する効果が見えづらいところがあると思われる。方向性は良いので、コロナ環境を含んだアイデアをそれぞれの施策に追加することが必

要と考える。

- ・IT、DXの導入による業務の効率化の流れが加速している。経営課題の解決ツールとして、IT活用の提案は今後さらに重要になると思われる。

管内の支援機関は、ITベンダーや会津大学等から情報を集め、商品知識やノウハウの習得が必要になってくるのではないかと考える。

(2) 重点施策Ⅱについて

- ・すぐ結果の出る課題ではないので、継続的に実施することが必要である。
- ・少子化対策は時間がかかる難しい課題である。今の取り組みを継続していただき、白河には安心して子育てできる環境が整っていると広く認識されることが大切である。

(3) 重点施策Ⅲについて

- ・コロナ禍による当面の自粛要請は続くものとみられ、人との交流や情報発信の仕方を変えなくてはならないと考える。

- ・コロナ禍において、ビジネスパーソンのテレワークの機会が増加している現状を踏まえ、ハード整備にとどまらず、首都圏への積極的なPRによるテレワーカーの呼び込みに取り組んでいただきたい。県としても取り組みを強化する予定なので、ぜひ連携させていただきたい。

- ・那須地域との連携について、観光分野のみならず、移住施策でも共同した取り組みを進めてはどうか。

- ・主にランキングに関わるところで苦戦している。ランキング上位のまちはなぜその順位にいるのか調査してみるのはいかがか。